

先端技術の現状を知り、未来の可能性を探る。

明日への テクノロジーセミナー

新潟工業短期大学
公開講座
令和5年度

参加費
無料



総合
テーマ

次世代に向けたSUBARUの挑戦

死亡交通事故ゼロを目指すSUBARUの安全技術と
カーボンニュートラル燃料で挑むモータースポーツへの参戦

特別
展示

“ぶつからない車？” 展示・体験



SUBARUアイサイト搭載車のレヴォーグを展示^{*1}
講演終了後は“ぶつからない車？”の同乗体験も実施^{*2}
SUBARU BRZも展示いたします。

*1写真は実際の展示車とは異なる場合がございます。あらかじめご承知おきください。
*2人数に限りがございます。混雑する場合は制限させていただく場合がございます。



10/29日 13:30-16:20 (受付13:00~)
“ぶつからない車？”展示・体験 16:20~17:20

seminar



究極のぶつからない車を目指して

～進化を続けるアイサイトの先進安全技術～

13:35-14:35

講師
紹介

阿部 幸一 氏
Abe Koichi

ADAS開発部
ADAS開発第四課 課長



新潟県新潟市西区出身。2007年富士重工業(株)入社。
入社以来、アイサイトのシステム開発、クルーズコントロール制御開発、画像認識性等、運転支援システムの開発に従事。アイサイト等、運転支援システム全般の性能評価を担当した後、現在は、更に分かり易く、使いやすくするためにアイサイトに関わるメータやスイッチ等、HMI(ヒューマンマシンインターフェース)の開発を担当している。



講演
概要

SUBARUの新世代アイサイトのご紹介をいたします。

SUBARUが目指すのは、「2030年までに死亡交通事故ゼロへ」。そのキーテクノロジーとなるのが「アイサイト」です。1990年代の開発当初から、ステレオカメラにこだわり、人の目と脳に限りなく近づける形で、高い技術へと磨き上げてきました。現在では、広範囲を見渡せるステレオカメラと超広角の単眼カメラを採用し、3つの目に進化した最新システムを採用。本講演では、ステレオカメラの認識性能と頭脳にあたるソフトウェアの仕組み及び高速道路の渋滞時に一定の条件を満たすと手を離すことが可能となる最新システム「アイサイトX」の技術、またAIを活用した更なる性能向上についてご紹介をいたします。

seminar



モータースポーツを活用したカーボンニュートラルチャレンジ

～SUBARUのクルマづくりと人財育成～

14:50~15:50

講師
紹介

本井 雅人 氏
Motoi Masahito

技術本部 技術管理部 担当部長 兼
スパル研究実験センター長



1991年富士重工業(株)入社。騒音振動、トランスミッション性能開発の後、動力性能・ドライバビリティやブレーキ・VDC^{*1}性能まとめなど、多岐開発に携わる。2020年より現職であるスパル研究実験センター長に就任。また、2022年よりスーパー耐久シリーズTEAM SDA ENGINEERING 監督も務める。

*1 ブレーキ制御、エンジン出力制御により、横滑りなど車の不安定な挙動を抑えるシステム。*2 市販車をレース用に改造した車両など、様々な規定でつくられたレースカーがクラス分けされて競う耐久レース。*3 今回SUBARUが使用する燃料は、二酸化炭素と水素、その他一部非食用のバイオマスなどを由来とした成分をガソリンのJIS規格に準拠するように合成して製造された燃料です。



講演
概要

低炭素社会実現を目指して、自動車業界では車の電動化が進んでいますが、既存のエンジン搭載車やガソリンスタンドを、継続的に活用できる可能性をもつカーボンニュートラル燃料(以下CN燃料と記載)も注目を集めています。

SUBARUは、市販車をレース用に改造した車両で競う耐久レースの「スーパー耐久^{*2}(S耐久)」に2022年より参戦を始めました。「Team SDA Engineering BRZ CNF Concept」は、カーボンニュートラルの実現への選択肢を増やすこと、次世代エンジニアの育成を目的にし、CN燃料^{*3}で走る「SUBARU BRZ」で参戦しています。

本講演では、CN燃料の可能性や課題に加え、次世代の「安心とゆしさ」を実現させる若いエンジニアの育成や技術開発についてご紹介いたします。



学校法人新潟科学技術学園

新潟工業短期大学
NIIGATA COLLEGE OF TECHNOLOGY

主催：新潟工業短期大学 共催：(公社)自動車技術会関東支部

後援：国土交通省北陸信越運輸局 / (一社)新潟県自動車整備振興会 / (公財)にいがた産業創造機構
新潟日报社 / NHK新潟放送局 / BSN新潟放送 / NST新潟総合テレビ

協力：新潟スパル自動車株式会社

令和5年度

明日へのテクノロジーセミナー

- ◆対象者：本テーマに関心のある方は、どなたでも参加できます。
- ◆参加定員：80名 応募多数の場合は、抽選となる場合がございます。
抽選結果は、10月20日頃までにハガキにてお知らせいたします。
- ◆参加費：無料
- ◆会場：新潟工業短期大学 2301 講義室
- ◆お申込方法：氏名、所属、連絡先住所、電話番号を明記の上、
FAX・E-mailにてお申し込みください。
- ◆申込締切：令和5年10月17日(火)

お申込み・お問合せは

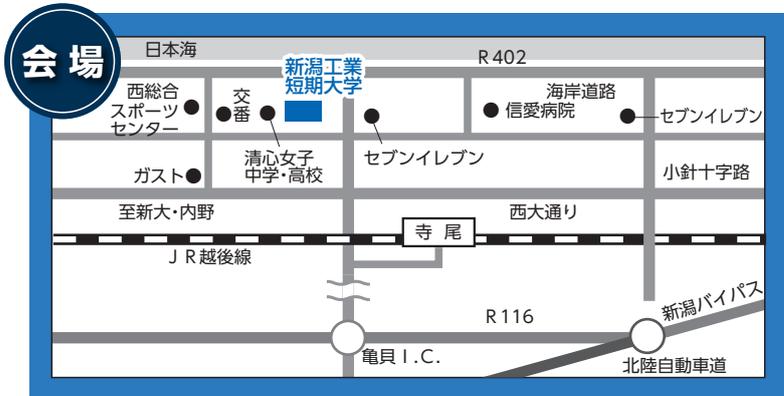
新潟工業短期大学 生涯学習委員会

〒950-2076 新潟市西区上新栄町5-13-7

TEL 025-269-3174 FAX 025-268-1222

<https://www.niigata-ct.ac.jp/public/technology/>

E-mail: shougai@po.niigata-ct.ac.jp



◆本講演の撮影・録音、及びホームページやブログへの公開を禁止させていただきます。

◆本学の記録・広報を目的として御参加者様の聴講の様子を本学のホームページ等で公開する場合がございます。左記以外の目的で使用することはありません。

新潟工業短期大学 生涯学習委員会宛

※コピーしてご利用ください。

令和5年度 明日へのテクノロジーセミナー

参加申込書

●日時: 令和5年10月29日(日) 13:30 ~ 16:20

フリガナ 氏名		年齢
連絡先の種別	自宅等 ・ 勤務先等	
勤務先(会社名)・部署等		役職等
住所	〒	
E-mail		
電話		
FAX		
これまで本セミナーに参加したことがありますか？	はい ・ いいえ	

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーに関する連絡及び情報提供のみに使用いたします。

▶ FAX: 025-268-1222

新潟工業短期大学

- 自動車工業科・2年制(2級自動車整備士養成課程)
- 専攻科 自動車工学専攻・2年制(1級自動車整備士養成課程)
- 沿革
昭和43年 北都工業短期大学開学(自動車工業科)
昭和57年 学校名を新潟工業短期大学と変更
平成16年 専攻科自動車工学専攻 開設
(一級自動車整備士養成課程)
- 学校法人新潟科学技術学園
新潟工業短期大学
新潟薬科大学
新潟薬科大学附属医療技術専門学校

スケジュール

13:00	受付開始
13:30	開講挨拶 新潟工業短期大学学長 佐藤 孝
13:35	Seminar I 究極のぶつからない車を目指して ～進化を続けるアイサイトの先進安全技術～ ADAS開発部 ADAS開発第四課 課長 阿部 幸一 氏
14:35	休憩(15分)
14:50	Seminar II モータースポーツを活用したカーボンニュートラルチャレンジ ～SUBARUのクルマづくりと人財育成～ 技術本部 技術管理部 担当部長 兼 スバル研究実験センター長 本井 雅人 氏
15:50	質疑応答・アンケート記入
16:20	閉講

※16:20～17:20 “ぶつからない車?”展示・体験

●交通機関

- 車の方/新潟西バイパス亀貝I.C.より、約15分。
- バスの方/有明経由内野営業所、グリーン団地前又は信楽園病院行「新潟科学技術学園前」下車。
- 電車の方/JR越後線「寺尾」下車、徒歩20分。

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーに関する連絡及び情報提供のみに使用いたします。 ▶ FAX: 025-268-1222